

企画展

ラブラブショー 2

4月28日(金) - 7月2日(日)

アーティストとアーティスト、作品と作品が出会い、そして作品と個性的な空間が出会う。そこに生まれた、「いま」、「ここ」でしか体感できない作品を楽しむ美術展。「出逢いは愛」・・・、さあ美術館でレッツ・ラブ！

遙かなるルネサンス展

7月28日(金) - 9月10日(日)

今から約430年前、日本の4人の少年が宣教師アレッサンドロ・ヴァリニャーノに連れられ、長崎から旅立ち、イタリアを訪れた。「天正遣欧少年使節」として知られる彼らは、ローマやヴェネツィアなど、イタリアの諸都市を訪れ、宮殿や教会で、ルネサンスの円熟した文化に接した。本展では、この4人の日本人の若者の目を通して、16世紀後半のイタリアにおけるルネサンスの豊穡なる美の世界を探求する。

「夢に挑む 洋画をめぐる画家たちの冒険
～明治・大正・昭和 日本と青森の近代洋画史～」展

9月23日(土) - 11月5日(日)

西洋文明の歴史と伝統に深く根ざした技法に挑んだ作家たちによって、日本と青森の洋画はどのように築かれていったのか。茨城県近代美術館、栃木県立美術館のコレクションによる日本近代洋画の充実した作品群とともに、青森県内の美術館・博物館等が所蔵する郷土作家たちの貴重な作品を集め、100点を超える充実した展示で、一世紀以上に及ぶ画家たちの夢と冒険の軌跡を紹介する。日本の洋画の原点ともいえるフランス近代洋画4点も特別展示。

「シャガール — 三次元の世界」展

2018年3月10日(土) - 5月6日(日)

観覧料：一般1,500(1,300)円 高大生1,000(800)円 小中学生無料

マルク・シャガールの三次元の作品世界を紹介する日本で初めての展覧会。戦後のシャガールは陶磁器や彫刻なども手がけている。本展では画家の初期の絵画作品から三次元的な制作への関心をたどり、後期の彫刻や陶磁器など、あまり知られていない立体的な作品群を紹介する。

コレクション展

コレクション展 2017 - 1

ラブラブショー 2 関連企画

DIALOGUES ダイアローグズ - 作家たちの対話から
3月11日(土) - 7月2日(日)

コレクション展 2017 - 2

遙かなるルネサンス展関連企画

信仰の旅路：Routes of Faith

7月8日(土) - 9月10日(日)

コレクション展 2017 - 3

日本と青森の近代洋画史展関連企画

破壊と創造：1950～1960年代の日本美術

9月16日(土) - 12月10日(日)

企画展「日本と青森の近代洋画史」展に連動し、「その後」の日本美術の流れを振り返ります。1950年から60年代にかけて起こった様々な表現の動向を、工藤哲巳、豊島弘尚、寺山修司とその周辺の仕事をとおして伝えます。

コレクション展 2017 - 4

12月16日(土) - 2018年3月4日(日)

マルク・シャガール作「アレコ」
全4作品完全展示

マルク・シャガールによるバレエ「アレコ」の舞台背景画。青森県立美術館が所蔵する3作品と、フィラデルフィア美術館(米国)所蔵の第3幕「ある夏の午後の麦畑」が、「青森県立美術館開館記念展 シャガール『アレコ』とアメリカ亡命時代」展(2006年)以来11年ぶりに全4作品が勢揃いします。

展示期間：2017年4月25日(火) - 2021年3月(予定)

パフォーマンスアート

ドラマリーディングクラブ公演

5月27日(土)

アレコホール定期演奏会2017「Incontro」

— I — 7月15日(土) — II — 9月30日(土)

映画上映会

「特集・たむらまさきの眼(マナグ)」

10月6日(金) - 9日(月・祝), 13日(金), 14日(土)

「特集・溝口健二」

10月20日(金) - 22日(日)

秋のおはなし美術館

11月3日(金・祝), 4日(土)

演劇公演「津軽の女」

12月8日(金), 9日(土)

美術館「演劇部」による、太宰治の作品「燈籠」、「きりぎりす」を原作としたオリジナル演劇公演を開催。

ダンス公演「アレコ2018」(仮称)

2018年2月2日(金), 3日(土)

県内外のダンサーと北海道・北東北の一輪車クラブや演奏家等による、新たな「アレコ」の公演を開催。

企画展

「シャガール ― 三次元の世界」展

3月10日(土) - 5月6日(日)

観覧料:一般1,500(1,300)円 高大生1,000(800)円 小中学生無料

※()内は前売および20名以上の団体料金。

マルク・シャガールの三次元の作品世界を紹介する日本で初めての展覧会。戦後のシャガールは陶磁器や彫刻なども手がけています。本展では画家の初期の絵画作品から三次元的な制作への関心をたどり、後期の彫刻や陶磁器など、あまり知られていない立体的な作品群を紹介します。

東奥日報創刊130周年・青森放送創立65周年記念

絵画の絆「フランスと日本」展

モネ・ドガ・ピカソから大観まで ―ひろしま美術館コレクション―

5月18日(金) - 7月8日(日)

東奥日報創刊130周年と青森放送創立65周年を記念する本展は、ひろしま美術館が所蔵するミレーやドガ、ピカソなどのフランス美術の名品に加え、浅井忠、黒田清輝などの洋画、横山大観、上村松園など日本画を展示し、西洋と東洋、両洋の美を鑑賞しうる機会となります。

めがねと旅する美術展

7月20日(土) - 9月2日(日)

私たちの日常生活は、人間の五感の中でも「みる」という行為に圧倒的に依存しています。この「みる」という行為を支える器具として欠かせないのが、ものを見る際のフィルターといった意味も併せ持つ「めがね」です。本展では、江戸時代後期の日本に一種の視覚革命を起こした、西洋由来の遠近法やレンズを用いた「からくり」にはじまり、列車や飛行機といった近代交通機関がもたらした新しい視覚、第二次大戦後の技術革新によって目覚ましい進化をみせてきたミクロ/マクロの世界の可視化といった、テクノロジーの発達に伴走してきた表現の軌跡を追います。あわせて、人類に普遍的な欲望である秘められたもの、見えないものを露わにする試みについても考察します。

コレクション展

板画家・棟方志功や現代美術家・奈良美智など、青森県ゆかりの個性豊かな美術家たちの作品を中心に展示しています。

コレクション展 2018-1

3月10日(土) - 5月6日(日)

コレクション展 2018-2

5月12日(土) - 7月8日(日)

コレクション展 2018-3

7月14日(土) - 10月21日(日)

コレクション展 2018-4

10月27日(土) - 2019年3月3日(日)

パフォーミングアーツ

ドラマリーディングクラブ公演

5月開催予定

青森県立美術館ドラマリーディングクラブによるリーディング公演をシアターにて開催します。

アレコホール定期演奏会2018

5月26日(土), 9月1日(土), 11月3日(土・祝)

アレコホールを会場に弦楽器二台とピアノによる演奏会を開催します。

演劇部公演「津軽の男」(仮称)

7月20日(金), 7月21日(土)

青森県立美術館演劇部による太宰治の作品を原作としたオリジナル演劇公演をシアターにて開催します。

映画上映会

10月開催予定

国内の作品を中心に魅力的な映画作品の上映会をシアターにて開催予定。

ダンス公演「アレコ2019」

2019年開催予定

マルク・シャガールによるバレエ「アレコ」の舞台背景画が展示されたアレコホールを会場に繰り広げられる新たな「アレコ」の世界を表現する公演を開催予定。

マルク・シャガール作「アレコ」
全4作品完全展示

マルク・シャガールによるバレエ「アレコ」の舞台背景画。青森県立美術館が所蔵する3作品と、フィラデルフィア美術館(米国)所蔵の第3幕「ある夏の午後の麦畑」が、「青森県立美術館開館記念展 シャガール『アレコ』とアメリカ亡命時代」展(2006年)以来11年ぶりに全4作品が勢揃いしています。

展示期間:2017年4月25日(火) - 2021年3月(予定)

〒038-0021 青森県青森市安田字近野185

Tel 017 783 3000

Fax 017 783 5244

www.aomori-museum.jp

開館時間

6/1 - 9/30 9:00 - 18:00 (入館は17:30まで)

10/1 - 5/31 9:30 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日

毎月第2、第4月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末

※企画展開催、展示替え等により変更する場合有

観覧料(コレクション展)

一般 510円(410円)

高校生・大学生 300円(240円)

小学生・中学生 100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金

※企画展は別料金

アクセス

○青森市営バス

青森駅前6番バス停から三内丸山遺跡行き「県立美術館前」下車(所要時間 約20分)

○ルートバスねぶたん号

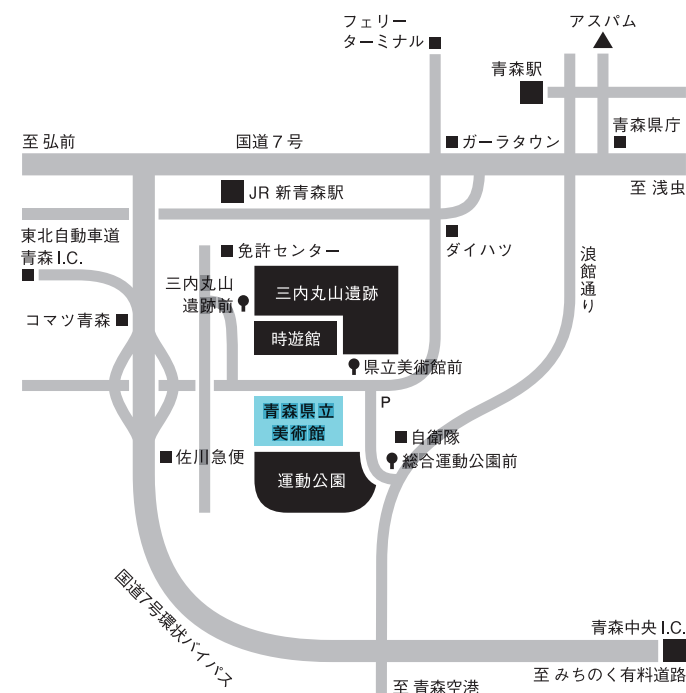
JR新青森駅東口バス停から乗車「県立美術館前」下車(所要時間 約11分)

○JR新青森駅から車で約10分

○青森駅から車で約20分

○青森空港から車で約20分

○東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分



青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART